

デジタル温湿度計
型番:CTH-1365

取扱説明書

このたびは、当社のデジタル温湿度計をお求めいただきましてまことにありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。なお、お読みいただきました後も、この取扱説明書を大切に保存されることをおすすめします。

安全にご使用いただくために

本器を安全に、末永くご使用いただくために、以下の事項をお守りください。
本文内の△(警告)は、本器を長期間にわたって損傷を防ぎ良好な状態でご使用頂くための記号です。

△ 警告

センサープローブの温湿度センサー部を手でつかんだり、直射日光にさらしたり、または静電気を印加したりしないで下さい。測定誤差や破損の原因になる場合があります。

△ 警告

損傷や火災事故防止のため、電子レンジ等マイクロ波加熱炉での温度測定は行わないで下さい。

△ 警告

センサープローブのコード部を何度も強くひっぱったり、曲げるのは故障の原因となります。長くお使いいただくためにコード部を強く曲げたり、ひっぱらないで下さい。

1.特長

- これ一台で、相対湿度・乾球・湿球温度・露点温度の測定が可能です。また、付属のプローブセンサーを接続する事で、さらに用途が広がります。
- センサーを埃などから守る回転式保護カバー付。
- HOLD機能付。
- オートパワーオフ機能付。(解除可)
- MAX/MINメモリ表示機能付。

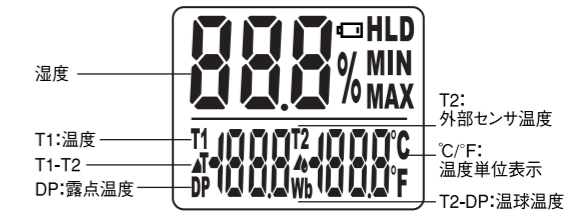
2.仕様

表示	3分割3行液晶表示(LCD)
測定範囲	温度(T1) : -20~+50℃ 湿度 : 5~95%RH 湿球温度(WB) : -21.6~49℃ 露点温度(DP) : -49~49℃ 外部温度(T2) : -20~70℃
分解能	0.1℃、0.1%RH
測定精度	温度 : ±0.6℃ (0~50℃) 湿度 : ±3% (25℃の時) 湿球温度 : ±0.2℃ : 30%RH~90%RH (演算精度) 露点温度 : ±0.3℃ : 上記以外 (演算精度) 露点温度 : 0.5℃ : 40%RH~90%RH (演算精度) 湿球温度と露点温度の精度は温度精度±1.6℃に演算精度を加えた値になります。 外部温度 : ±1.0℃
外部センサー(T2)仕様	プローブ : 約φ4×80mm、 コード : 約110cm
使用温湿度	+10~+40℃ (但し、結露のないこと)
保存温湿度	0~+50℃ (但し、結露のないこと)
サンプリング	1回/秒
オートパワーオフ	最終動作より2.5、10、20、40、60分後に動作、解除も可能
電源	単4乾電池×2個 ※
寸法・重量	178(H)×48(W)×25(D)mm、約95g (電池含む)
付属品	取扱説明書、外部センサー

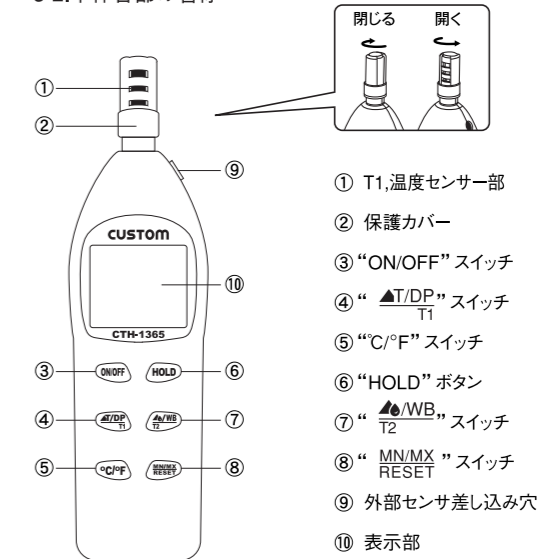
※電池は原則的に付属しておりません。一部テスト用電池が装着されている場合には早めに電池の交換をしてください。

3.各部の名称

3-1.表示部のシンボルマーク



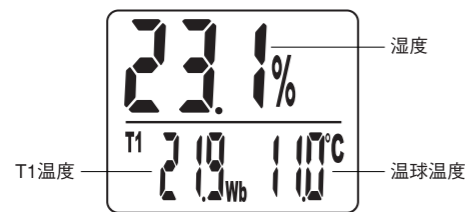
3-2.本体各部の名称



4.使用方法

4-1.使用方法について

- ON/OFFスイッチ③を押すと電源が入ります。
- 本体の上部に付いているT1センサー①の回転式カバー②をOPENの方向に回してセンサーを開きます。
- 表示画面⑩の上部に湿度が、画面左下にT1の温度が表示されます。
- 画面右下の表示は外部センサーT2の温度表示および湿球温度表示用です。外部センサーを差し込んでいない時は常に湿球温度(WB)を表示します。
- 測定値が測定範囲外になると“Er2”や“Er4”等のエラー表示が現れます。



■使用時のご注意

本体のT1センサーで使用温度範囲(+10℃~+40℃)外の温度を測定する場合は、センサー部のみを測定対象にあてておくようにしてください。本体部分を使用温度範囲外にすると機能しなくなる可能性があります。

4-2.オートパワーオフ機能

初期設定では、電源を入れてから何も動作を行わないと10分で自動的に電源が切れるようになっています。

この設定を変更するには、電源が切れている状態で“HOLD”スイッチ⑥を押しながら“ON/OFF”③を押し続けてください。下記のように表示が切り替わります。

“n” → “2” → “5” → “10” → “20” → “40” → “60”

“n”が表示されている場合は、オートパワーオフ機能が解除されますので、この表示が出ている時に、スイッチを離してください。

それ以外は、各時間(分)を意味していますので、ご希望の時間のところでスイッチから指をはなしてください。

■注意

電池を交換したり、電源を切ると初期設定に戻ります。

4-3.温度表示切替について

温度の単位表示を切り替えるには、“C/F”スイッチ⑤を約1秒間押し続けます。
“C”は摂氏で、“F”は華氏を意味します。
日本国内では通常、“C”の単位を使用しますので、温度単位表示は“C”に設定してください。

4-4. データホールド機能

“HOLD”スイッチ⑥を押すと表示部右上に“HLD”が表示され、測定値の表示が固定されます。
この機能を解除するには、再度スイッチを押してください。

4-5.露点温度について

“▲T/DP”スイッチ④を押すごとに下記のようにモードが切り替わります。

●外部センサーコネクター差し込み穴⑨に外部センサーのコネクターが接続されていない時。
“T1” → “DP”

●外部センサーコネクター差し込み穴⑨に外部センサーのコネクターが接続されている時。
“T1” → “▲T” → “DP”

T1 : ①の温度センサーの測定値

▲T : T1とT2 (外部センサーでの測定値:4-5を参照)との温度差

DP : 露点温度

上記それぞれの機能にて、測定値が安定したら数値を読み取ります。

4-6.外部センサー(T2)での温度の測定と湿球温度

外部センサーコネクター差し込み穴⑨に付属の外部センサーのコネクターを差し込む事により、プローブで固形物などの中心温度や水温の測定が可能になります。

“▲WB/T2”スイッチ⑦を押すごとに下記のようにモードが切り替わります。
“T2” → “▲” → “WB”

T2 : 外部センサーでの温度測定値

▲ : T2とDP (露点温度)の温度差

WB : 湿球温度

上記それぞれの機能にて、測定値が安定したら数値を読み取ります。

4-7.MAX/MIN機能について

“MIN/MX/RESET”スイッチ⑧を押すと下記のように表示が切り替わります。

“通常の測定モード” → “MIN” (最小の値) → “MAX” (最大の値)

電源を入れたときからのそれぞれの値を自動記録しています。

上記の操作で、確認したい値を呼び出し、数値を読み取ってください。

“MIN/MX/RESET”スイッチ⑧を2秒以上長押しするとメモリーはクリアされます。

また、電源を切ったり、電池の交換後もメモリーはクリアされますのでご注意ください。

4-8.バッテリーマークについて

表示部右上に“BAT”が表示されたら電池電圧が低下して、測定が正確にできなくなりますのですぐに新しい電池と交換してください。

5.電池の交換

バッテリーマークが表示されたり表示が薄くなったり、出なくなった場合は新しい電池に交換してください。

- 本体裏の電池蓋のつまみを上に引き上げて外します。
- 古い電池を外し、新しい電池を極性に注意して装填します。
- 電池蓋を元に戻します。

保証書

株式会社 **カスタム**
印ス会

保証規定
本器は当社基準に基づく検査により合格したもので、下記の保証規定により保証いたします。

- 保証期間中に正常な使用状態で、万一故障等が発生した場合は無償で修理いたします。
- 本保証書は、日本国内でのみ有効です。
- 下記事項に該当する場合は、無償修理の対象から除外いたします。
 - 不適当な取扱い、使用による故障
 - 設計仕様条件等をこえた取扱い、または保管による故障
 - 当社もしくは当社が委嘱した者以外の改造または修理に起因する故障
 - その他当社の責任とみなされない故障

機種名	CT-1365	シリアルNo.	
保証期間	年 月 日より1ヵ年		
お客様様	お名前 _____ 様		
	ご住所 _____		
	電話番号 _____		
販売店	住所・店名 _____		
	販売店様へ お手数でも必ずご記入の上お客様へお渡しください。		

総合計測器メーカー
株式会社 **カスタム**
〒101-0021東京都千代田区外神田3-6-12
PHONE (03) 3255-1117 FAX (03) 3255-1137
CUSTOM CORPORATION
6-12, 3-chome, Sotokanda,
Chiyoda-ku, TOKYO, JAPAN 101-0021
2008年1月初版